

校友会北海道支部 十勝（帯広）クラブからのご報告

本年6月15日、ホテルポールスター札幌にて開催された北海道地区総会において、「支部役員および本学による道内クラブ訪問」の要請をさせていただきました。

訪問の趣旨は、地元の有力高校およびOBが在籍する地元企業を訪問することで、大学の魅力を発信し、本学とのつながりをより強固にすることにありました。

この提案を受け、支部および本学にて検討を重ねた結果、8月に「帯広訪問」が実現いたしました。

実施内容

8月18日（夕刻）

- ・本学 学長室 田中裕一課長 来帯

8月19日

- ・草野支部長 早朝来帯、田中課長、堀江浩明 十勝クラブ会長とともに三名で同行訪問
- ・10:00～12:00-石川博機 前十勝クラブ会長宅 表敬訪問、夏川憲彦 元十勝クラブ幹事長宅 表敬訪問
- ・13:00～17:00-道立高校（三校）、私立高校（一校）を訪問
-各校の進路指導担当教諭と面談

- ・夜-懇親会 十勝クラブ有志5名参加

8月20日

- ・田中課長、草野支部長、堀江十勝クラブ会長三名で同行訪問
- ・10:00～14:00 -OBが在籍する地元企業（三社）を訪問



訪問を通じて

高校訪問では、各校の進学傾向や実績についてご紹介いただきました。

ある指定校では、修学旅行先に田辺学舎を組み込み、学生ボランティアの引率を受けているとのお話もあり、大変心強く感じました。

OB宅および地元企業訪問では、本学創立150周年記念寄付事業についてご紹介し、ご協力をお願いをさせていただきました。

十勝クラブでは、10月に総会を予定しており、その場で寄付の取りまとめを行い、10月末に本学へ寄付を実施する予定です。

追伸

今回、前十勝クラブ会長・石川博機氏のご自宅を訪問させていただきました。

石川氏は本年2月に骨髄性腫瘍を発症され、5月には急性白血病へと進行し、帯広市内の病院で療養されていました。

余命宣告を受ける中、8月19日の訪問に合わせて病院を退院され、ご自宅での面談が叶いました。声を出すのも難しい状況ではありましたが、同志社への深い愛情を熱く語られ、満面の笑みを浮かべられたお姿が深く心に残っております。

石川氏は翌々日21日朝、ご家族に見守られながら静かに永眠されました。

通夜・葬儀の際には、奥様・ご息女・お孫様方より自宅訪問への感謝のお言葉をいただきました。とくにお孫様から「じっちゃん、同志社、大好きだったんですよ」とのお言葉をいただき、感無量でございました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌

写真は、昨年の十勝クラブ総会時と葬儀会場に飾られた、六十数年前、石川氏の着ていた大学アイスホッケー部ジャージです。

